

2026 年度シラバス

科目分類/Subject Categories			
学部等/Faculty	/大学院工芸科学研究科（博士前期課程）： /Graduate School of Science and Technology (Master's Programs)	今年度開講/Availability	/有：/Available
学域等/Field	/デザイン学学域：/Academic Field of Design	年次/Year	/1～2年次：/1st through 2nd Year
課程等/Program	/京都工芸繊維大学・チェンマイ大学国際連携建築学専攻：/Kyoto Institute of Technology and Chiang Mai University Joint Master's Degree Program in Architecture	学期/Semester	/適宜：/As Required
分類/Category	/研究指導：/Research Supervision	曜日時限/Day & Period	/：/

科目情報/Course Information				
時間割番号 /Timetable Number				
科目番号 /Course Number	68460501			
単位数/Credits	0			
授業形態 /Course Type				
クラス/Class				
授業科目名 /Course Title	特別制作：Studio Theses			
担当教員名 / Instructor(s)	/京都工芸繊維大学・チェンマイ大学国際連携建築学専攻関係教員：Related teacher of the Kyoto Institute of Technology and Chiang Mai University Joint Master's Degree Program in Architecture			
その他/Other	インターンシップ実施科目 Internship	国際科学技術コース提供科目 IGP	PBL 実施科目 Project Based Learning	DX 活用科目 ICT Usage in Learning
			○	
	実務経験のある教員による科目 Practical Teacher	○	建築設計分野での業務経験を活かし、建築設計に関する指導を行う。	
科目ナンバリング /Numbering Code				

授業の目的・概要 Objectives and Outline of the Course	
日	学生が自主的に取り組んだ建築設計活動、建築調査活動について、学内において一定の発表形式をもってプレゼンテーションさせ、学内教員の評価をもって一定の単位を与える科目である。学習対象が極めて広い建築という分野において、インターンシップのように所定の外部組織に所属して行われる活動以外の社会的活動についても、内容に応じた評価をあたえることで、積極的な社会学習の機会を得ることを目的とする。
英	This is a subject in which students give presentations on architectural design activities and architectural research activities that they have voluntarily engaged in in a certain presentation format, and a certain number of credits are given based on the evaluation of the faculty members.

学習の到達目標 Learning Objectives	
日	現代的な社会的意義を持ったコンセプトと計画が立案できる 個々のコンセプトに根差してそれを展開した特異性のある空間構成ができる。 コンセプトから連続した素材の選択ができる。 目指す空間に相応しい構造形式の提案や検討と選択ができる。 意図を正しく伝えるための二次元、三次元での建築表現ができる。
英	

学習目標の達成度の評価基準 / Fulfillment of Course Goals (JABEE 関連科目のみ)
--

日	
英	

授業計画項目 Course Plan			
No.		項目 Topics	内容 Content
1	日 英		
2	日 英		
3	日 英		
4	日 英		
5	日 英		
6	日 英		
7	日 英		
8	日 英		
9	日 英		
10	日 英		
11	日 英		
12	日 英		
13	日 英		
14	日 英		
15	日 英		

履修条件 Prerequisite(s)	
日	
英	

授業時間外学習（予習・復習等） Required study time, Preparation and review	
日	各自のプロジェクトの目的や意義について熟考し、調査・研究とデザインの統合の検討を重ねること。
英	Consider the purpose and significance of each project, and continue trying for the integration of research and design.

教科書／参考書 Textbooks/Reference Books	
日	
英	

成績評価の方法及び基準 Grading Policy	
日	最終提出作品としての建築図面及び模型により、コンセプト、平面計画、断面計画、外観構成、構造計画、ディテールデザイン

	<p>の各視点から、最終成果品を評価する。 提案されたものの革新性、具体性、社会性、意匠性において、一定の到達度が認められる必要がある。</p>
英	<p>The final product will be evaluated from the perspectives of concept, plan, cross-section plan, exterior composition, structural plan, and detail design based on the architectural drawings and models as the final submitted works. It is necessary to recognize a certain degree of achievement in terms of innovation, concreteness, sociality, and design of the proposed material.</p>

留意事項等 Point to consider	
日	
英	